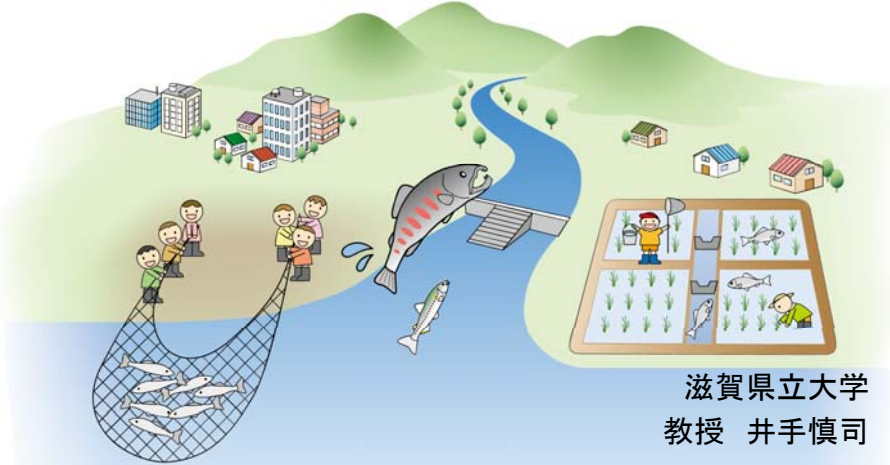


# さかなの旅、ふたたび

～取り戻そう、山・里・湖のつながり～

## 【趣旨説明】

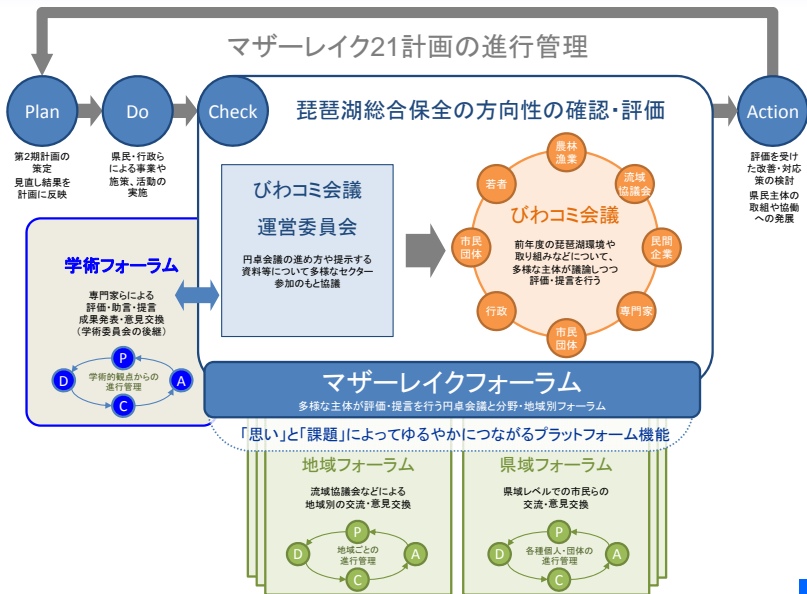


滋賀県立大学  
教授 井手慎司

## マザーレイク21計画(第2期改訂版)



## マザーレイク21計画の進行管理



## “マザーレイクフォーラム”

～思いをつなぎ、命をつなぐ。母なる湖のもとに～

400万年の悠久の歴史をもつ琵琶湖。さまざまな命と文化を生み出してきた「母なる湖 マザーレイク琵琶湖」の世界的な価値や魅力、琵琶湖が抱える課題や琵琶湖への思いについて、いっしょに語りませんか。

日時 平成24年3月25日(日) 10時00分～16時15分  
会場 コラボしが21 3階大会議室・中会議室  
(滋賀県大津市打出2番1号)  
参加費 無料

### プログラム

【第1部】講演と対談 10:00～12:00

#### ～湖と人～ そのつながりのなかで

- ・講演：山崎 亮 (studio-L代表)
- ・対談：山崎 亮 × 嘉田 由紀子 (滋賀県知事)

地域の課題を地域に住む一人ひとりが解決する場をつくる「コミュニティデザイン」で今、全国から注目を浴びる山崎亮さんの熱いお話。そして、研究者として30年におわたって地域の人々に寄り添い暮らしと湖のつながりを見つめ続けてきた嘉田知事との対談が実現します！

【第2部】マザーレイクフォーラム円卓会議 13:15～16:15

#### 「ふなずしは生き残れるか？」

～考えよう！あなたの暮らしと琵琶湖の未来～

滋賀を代表する食文化「ふなずし」が危ない!?  
水辺の環境破壊？水質の悪化？地球温暖化？それとも私たちの嗜好の変化？  
ふなずしを通して見てくる私たちの暮らしと琵琶湖の今と未来について、円卓会議のメンバーだけでなく、参加者全員で考えます。

## 総合討論におけるTOP5の選定

### ふなずしが生き残るために必要な取り組みTOP5

1位 琵琶湖へ関心を持つ仕組みや場づくり

2位 ヨシ帯・内湖・水田の物理的なつながりの復元

3位 人びとがつながり、取組に参加する仕組みづくり

4位 (ニゴロブナの生態が見える)モデル地区づくり+見学

5位 自らつくるオリジナルふなずし